



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年8月8日

上場会社名 シュッピン株式会社 上場取引所 東
コード番号 3179 URL <https://www.syuppin.co.jp>
代表者（役職名）代表取締役社長 CEO（氏名）小野 尚彦
問合せ先責任者（役職名）取締役上席執行役員CFO（氏名）澤田 龍志（TEL）03-3342-0088
四半期報告書提出予定日 2023年8月9日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2024年3月期第1四半期の業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

（1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	11,316	5.0	819	△4.3	818	△5.2	546	△6.6
2023年3月期第1四半期	10,776	18.2	856	26.3	863	23.0	585	20.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	25.97	25.83
2023年3月期第1四半期	27.95	27.51

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	15,189	6,408	42.2
2023年3月期	15,066	6,479	42.9

（参考）自己資本 2024年3月期第1四半期 6,405百万円 2023年3月期 6,477百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	0.00	—	33.00	33.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	24,255	10.8	1,514	△7.0	1,499	△8.9	1,034	△8.1	49.18
通期	50,028	9.7	3,122	26.8	3,092	26.8	2,133	25.7	101.40

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年3月期1Q	23,407,991株	2023年3月期	23,392,997株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2024年3月期1Q	2,352,138株	2023年3月期	2,352,209株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2024年3月期1Q	21,048,530株	2023年3月期1Q	20,934,901株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足資料説明はT D n e t 及び当社ウェブサイトにて同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の政府による対策見直しを受け、経済活動の正常化が進みました。一方、欧州における地政学リスクは不確実性が高まり、日本を含む各国政府の金融政策は一段と不透明感が漂っております。

当社が置かれていますEコマース市場は、経済産業省の電子商取引に関する市場調査において、2021年の国内小売販売に占める物販系のEC化率は8.78%（前年比0.7ポイント増）と推計され、商取引の電子化が進展しています。

（注）出典：経済産業省 令和3年度デジタル取引環境整備事業（電子商取引に関する市場調査）

このような経営環境のもと、当社は「お客様に『価値ある新品と中古品』を安心、安全に取引できるマーケットを創造すること」を方針として、インターネット経由ですべての情報とサービスをお客様に提供してまいりました。中長期目標の実現に向けたビジョンとして「4つのシンカ」と「バリューチェーン・シナリオプランニング」を前事業年度より引き続いて掲げ、従業員エンゲージメント強化を進めることで、「ムダ・ムリ」をなくしたスリムな経営と、社員の成長とともに会社の成長を目指しております。

当第1四半期累計期間においては、主軸のカメラ事業が新製品の売れ行きが極めて好調であったことを受けて堅調に推移しました。時計事業では、前事業年度からの高級時計価格の相場下落は一服したものの、ECにおける販売数量が低調となりました。これらのことから、売上高は11,316,451千円（前年同四半期比5.0%増）となりました。

利益面では、主軸のカメラ事業でAIMDが機能し高い売上総利益率を維持、時計事業でも、価格下落の一服感から利益を確保できる水準で販売を行うことができたため、全体での売上総利益率は19.4%と、前年同期から0.3ポイントの減少にとどまりました。

販売費及び一般管理費においては、売上高連動の販売促進費やクレジット利用手数料、従業員給与の増加等によって1,378,973千円（同9.1%増）となり、AI活用によるスリムな経営は継続してまいりましたが、売上高販売管理費比率は前年同期比0.5ポイント増加しました。これらによって、営業利益は819,623千円（同4.3%減）、経常利益は818,086千円（同5.2%減）、四半期純利益は546,584千円（同6.6%減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

[カメラ事業]

当第1四半期累計期間のカメラ事業は、堅調な成長を果たしました。フルサイズミラーレスカメラの高級機が発売され、半導体不足の解消もあり十分な供給量が確保できたこともあって、売上高の伸長に大きな貢献がありました。

当第1四半期累計期間におきましては、動画配信を中心としたコンテンツの拡充に注力しました。カメラ事業部ではYouTubeを中心に動画の制作や配信を行う「コンテンツクリエイト部」を新設、映像制作の実務経験を持つ人材を複数名配属し、これまで獲得できていなかった、若年層視聴者の獲得が進んでおります。これまでもAIを活用した「One to Oneマーケティング」を推進しておりますが、今後は映像コンテンツの制作、配信にも一層磨きをかけてまいります。

カメラ事業のセグメント売上高は8,897,794千円（前年同四半期比16.9%増）となりました。セグメント利益については「AIMD」によって売上総利益率は高水準を維持でき、販売費及び一般管理費の伸びを超過して売上総利益を獲得できたことで1,084,180千円（同24.8%増）となりました。

[時計事業]

当第1四半期累計期間は減収減益となりました。前事業年度を通じて継続していた高級時計価格の相場下落は一服し、利益を確保しながら商品の販売を行うことができております。しかしながら、ECにおける時計の販売が低調となり、セグメント売上高は2,106,941千円（前年同四半期比25.8%減）となり、セグメント利益については54,278千円（同75.9%減）となりました。

[筆記具事業]

当第1四半期累計期間においては、メーカーとの協業によるオリジナル商品の企画・販売を継続実施し、限定モデルの売れ行きは好調となりました。また、中古品は高価格帯商品の売れ行きが堅調で、販売単価も上昇しております。

これらにより、セグメント売上高は111,707千円（前年同四半期比10.4%増）、セグメント利益については14,190千円（同232.6%増）となりました。

[自転車事業]

新型コロナウイルス感染症拡大における生活スタイルの変化と、健康志向に伴う自転車需要の高まりも一巡したことに加え、当第1四半期累計期間は円安による完成車価格の高騰等を通じ、販売の勢いは鈍化しました。免税売上も低調な推移となり、セグメント売上高は200,008千円（前年同四半期比11.3%減）となり、セグメント利益については7,050千円（同39.1%減）となりました。

(グローバル戦略について)

これまで「Map Camera」として世界最大級のオンラインマーケットプレイス「eBay」へ、「GMT」として「eBay」及び高級腕時計マーケットプレイス「Chrono24」へ出店していましたが、加えて前事業年度より海外向け販売サポートサービスである「Buyee Connect」を導入しております。これにより世界118の国／エリアから、筆記具、ロードバイクを含めた全ての取り扱い商材を販売することが可能となりました。

越境ECにおける売上高はカメラ事業、時計事業、筆記具事業にそれぞれに含まれて計上されており、当第1四半期累計期間ではカメラ556,066千円、時計155,851千円、筆記具1,708千円となっています。

[販売チャネル別売上高の状況]

販売チャネル	売上高	構成比	前年同四半期比
EC	8,753,564千円	77.4%	102.7%
店舗	2,562,887千円	22.6%	113.7%
合計	11,316,451千円	100.0%	105.0%

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末の総資産は15,189,125千円となり、前事業年度末と比較し、122,766千円の増加となりました。

流動資産は13,386,412千円となり、前事業年度末と比較して183,698千円の増加となりました。これは主として商品が259,244千円増加したこと、売掛金が184,807千円減少したことによるものであります。

固定資産は1,802,712千円となり、前事業年度末と比較して60,931千円の減少となりました。これは主として投資その他の資産が88,503千円減少したことによるものであります。

負債につきましては8,780,917千円となり、前事業年度末と比較して194,047千円の増加となりました。

流動負債は6,233,761千円となり、前事業年度末と比較して593,582千円の増加となりました。これは主として短期借入金が550,000千円増加したことによるものであります。

固定負債は2,547,155千円となり、前事業年度末と比較して399,534千円の減少となりました。これは長期借入金が404,883千円減少したことによるものであります。

純資産につきましては6,408,208千円となり前事業年度末と比較して71,280千円の減少となりました。これは主として利益剰余金が84,655千円減少したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点においては2023年5月10日の「2023年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,423,525	1,472,556
売掛金	2,469,923	2,285,115
商品	8,812,856	9,072,100
その他	496,408	556,639
流動資産合計	13,202,714	13,386,412
固定資産		
有形固定資産	320,171	309,391
無形固定資産		
商標権	7,819	7,511
ソフトウェア	352,297	329,415
ソフトウェア仮勘定	264,062	325,603
無形固定資産合計	624,179	662,530
投資その他の資産		
その他	919,293	830,790
投資その他の資産合計	919,293	830,790
固定資産合計	1,863,644	1,802,712
資産合計	15,066,358	15,189,125

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,374,813	1,511,136
短期借入金	1,200,000	1,750,000
1年内返済予定の長期借入金	1,702,819	1,675,782
契約負債	232,014	254,041
未払法人税等	280,916	213,677
賞与引当金	—	38,361
その他	849,617	790,762
流動負債合計	5,640,179	6,233,761
固定負債		
長期借入金	2,903,923	2,499,040
業績連動報酬引当金	4,368	8,524
株式報酬引当金	2,150	3,320
資産除去債務	36,248	36,270
固定負債合計	2,946,690	2,547,155
負債合計	8,586,869	8,780,917
純資産の部		
株主資本		
資本金	535,262	541,912
資本剰余金	435,262	441,912
利益剰余金	7,982,423	7,897,767
自己株式	△2,475,926	△2,475,850
株主資本合計	6,477,022	6,405,742
新株予約権	2,466	2,466
純資産合計	6,479,488	6,408,208
負債純資産合計	15,066,358	15,189,125

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	10,776,548	11,316,451
売上原価	8,655,863	9,117,855
売上総利益	2,120,684	2,198,596
販売費及び一般管理費	1,264,381	1,378,973
営業利益	856,303	819,623
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	—	8,596
為替差益	7,024	8,948
還付消費税等	5,844	—
その他	210	3,178
営業外収益合計	13,079	20,723
営業外費用		
支払利息	5,171	4,560
株式報酬費用消滅損	—	16,715
その他	893	983
営業外費用合計	6,065	22,259
経常利益	863,317	818,086
特別損失		
固定資産除却損	26	123
特別損失合計	26	123
税引前四半期純利益	863,291	817,963
法人税、住民税及び事業税	183,264	199,770
法人税等調整額	94,870	71,608
法人税等合計	278,134	271,379
四半期純利益	585,156	546,584

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)	四半期 損益計算書 計上額
	カメラ事業	時計事業	筆記具事業	自転車事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	7,612,353	2,837,642	101,155	225,396	10,776,548	—	10,776,548
計	7,612,353	2,837,642	101,155	225,396	10,776,548	—	10,776,548
セグメント利益	868,617	225,530	4,266	11,574	1,109,989	△253,686	856,303

(注) セグメント利益は、四半期損益計算書上の営業利益であります。各報告セグメントへの配分が困難な本部人件費等の一般管理費253,686千円については調整額としております。

当第1四半期累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)	四半期 損益計算書 計上額
	カメラ事業	時計事業	筆記具事業	自転車事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	8,897,794	2,106,941	111,707	200,008	11,316,451	—	11,316,451
計	8,897,794	2,106,941	111,707	200,008	11,316,451	—	11,316,451
セグメント利益	1,084,180	54,278	14,190	7,050	1,159,700	△340,076	819,623

(注) セグメント利益は、四半期損益計算書上の営業利益であります。各報告セグメントへの配分が困難な本部人件費等の一般管理費340,076千円については調整額としております。